

第九回 衆議院日本勸業銀行法案委員會速記録

(第五號)

(六五)

明治二十九年二月二十七日午前十一時九分開議

○委員長(石田貫之助君) 是ヨリ第五回ノ會議ヲ開キマス、本日ハ第八章罰則ト云フ所ノ質問ニ掛リマス

○(河島醇君) 一寸質問致シマスガ、此罰則ノ所デハ更ニ見エナイヤウデスガ假定ノ定款ニ依ツテ之ヲ對照シテ見ルト、餘程勸業銀行總裁ノ責任ニ屬スルモノガ餘程アラウト思フ、是ハ日本銀行其他ニ比較シテ見ルト特ニナツテ居ルヤウデアル、所ガ普通ノ會社法ニ依ツテ見ルト連帶責任ニナツテ居ルモノガ、此罰則ニ依ツテ見ルト單獨責任ニナツテ居ルヤウデアリマス、又今既ニ立ツテ居ル銀行ニ就イテ見ルト、日本銀行ガ其性質ガ兩様ニナツテ居ルヤウデアルケレドモ、正金銀行ノ如キハ全ク普通ノ商法ニ依ツテ、則チ會社法ノ制裁ニ據ツテ居ル、所ガ政府提出ノ勸業及農工銀行ノ兩法ニ就イテ見ルト、農工銀行ノ方ハ寧ロ普通ノ會社法ニ據ツテ規定ガ設ケテアルヤウデアゴザイマスガ、此罰則モ自ラ其精神ヲ以テ制定セラレタモノデアリマス、ソレハドウ云フコトデアリマスカ

○政府委員(添田壽一君) 勸業銀行ノ方ハ唯今御述ベニナツタ通り總裁ニ全權ヲ與ヘ、其一人ニ責任ガ凝結シテ居ル所カラ、自ラ一般ノ商法ノ規定トハ異ナルコトニシテアリマシテ、農工銀行ノ方ハ殆ド商法ト同ジ精神デ成立ツテ居リマシテ、唯商法ニ漏レテ居ル箇條ニ就イテ罰則ガ掲ゲラレテアルノデアリマス

○(河島醇君) サウ致シマス、是ハ所謂專制ノ總裁ニ權利ヲ與フルガ故ニ、特ニ商法ノ一般ノ規定ニ依ラズシテ其責任ノ重キヲ總裁ニ加ヘタモノデアアル、ソレ故ニ此罰則モ幾分カ特殊ニナツテ居ルト云フ理由デアアルノデスカ

○政府委員(添田壽一君) 左様デアゴザイマス
○(眞館貞造君) 茲ニ列記シテアル事ヲ犯シタモノニハ貳拾圓以上貳百圓以下トアリマスガ、是ニ對シテ損害ガ生ジタトカ何トカ云フ時ニ辨償ヲサセルト云フヤウナ旨意ハ何處ニモナイヤウデアリマスガ、サウシマスルト貳拾圓ナリ貳百圓ナリハ思切ツテ之ヲ一ツヤツテ見ヤウト云フコトデ、故意ニ犯スト云フコトニナリハシマセヌカ、サウ云フ時ニハ何處デ防グト云フコトニナリマスカ

○政府委員(添田壽一君) 茲ニ掲ゲテアル以外ノコトニ就キマシテハ、商法ガ適用セラレマス譯デアリマスカラ詰リ……

○(眞館貞造君) 是ニ附帶シテ茲ニ列記シテアル箇條ヲ犯シタタメニ對シテ損害ガ生ジタ時ニ、其損害ヲ辨償スルトカ何トカ云フヤウナコトハ何モ茲ニ書イテナイ以上ハ、貳拾圓ナリ貳百圓ナリ思切ツテ出スト云フコトニナツテ、故意ニ犯スヤウナ恐レハナイノデゴザイマスカ

○政府委員(添田壽一君) ソレ故ニ唯今申シマス通り商法ニ據リマス積リデアリマスカラ、例ヘバ商法第百八十八條ヲ御覽ニナリマスルト「取締役ハ其職分上ノ義務ヲ盡スコト及定款並ニ會社ノ決議ヲ遵守スルコトニ付キ會社ニ對シテ自己ニ其責任ヲ負フ」ト云フガ加ク、其責任ト云フモノハ商法ニ據ツテ定メラレテアリマスカラ、唯思切ツテ貳百圓ト云フモノヲ納メサヘスレバ宜シイト云フコト丈デハナイノデアリマス

○(眞館貞造君) サウスルト此箇條ト云フモノハ前條ニ依ツテスルコトガナラヌト云フコトヲ若シシタ時ニ、斯ウダト云フコトニシマスルト、自然是丈ノ罰金ナラ、シテモ宜シイト云フ意味ニナルノデスカ

○政府委員(添田壽一君) ドウモ丁度人ヲ殺セバ殺サル、ト云フ罰ガアリマスル丈デ、ソレダカラ殺シテモ宜イト云フコトハ起ラヌトハ思ヒマスガ、サウ云フ憾ガアレバ仕方ゴザイマセヌガ、先ヅ是ハ爲スベカラサル業ニ對スル制裁デアリマスノデ、ソレヲ構ハズヤル場合ニ於テハ已ムヲ得ヌコトデアラウト思ヒマス

(此時「質問ガナイヤウデアリマスカラ次ノ方ヲ願ヒマス」ト呼フ者アリ)
○委員長(石田貫之助君) 第八章ハ最早質問ガナイヤウデアリマスカラ、次ノ附則ニ移リマス

○(立石岐君) 此附則ノ六十條デアリマスガ、株主ヲ募集シマスルニ政府ハ銀行ニ於テ其委員ガ定款ヲ作り、政府ノ認可ヲ得テ株主ヲ募集スルトアリマスガ、是迄既往ノ銀行ナドハ隨分國立銀行ナドモ設立シマスル際ニ於キマシテ、株主ヲ勸誘シテ漸ク設立シタ位ノ有様デアリマシタケレドモ、今日ハ一般諸會社ノ發起ト云フモノハ勃々トシテ起ツテ居リマスル、又其株主ノ申込ナドハ競フテ申込ミマスル今日デアリマスルガ、此勸業銀行ノ如キニ於キマシテハ、別シテ斯ウ云フ場合ガアツテ餘程株主ノ募集ニハ困難デアラウト思ヒマス、且又是ガ餘程公平ナ募集ナ仕方ヲシマセヌケレバ、其間ニ餘程申込ム者ニ於テ苦情ガ起ルコトデアラウト思ヒマスガ、豫メ其募集ノ方法ニ就イテハ政府ハ特別ニ御見込ノ立ツテ居リマスコトデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(添田壽一君) 唯今ノ御尋ニ就キマシテハ本議場デモ申上ゲマシタ如ク、成ルベク公平普及ト云フコトヲ努メタイト云フ考デアリマスカラ、或ハ一部ニ偏スルト云フヤウナコトヲ避ケルノハ、最モ努メナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、其事實ノ働キハ即チ此設立委員ノ手ニ於テ爲スコトデアリマスル故ニ、政府カラ別段立入ツテ命令ヲスルト云フマデニハ往キ難イ、事情モアリマセウケレドモ、努メテ公平ヲ得セシムルヤウニシタ

イト云フ希望ヲ以テ、出來ル丈働クト云フコトヲ努メタイト思ツテ居ルノデアリマス、然ルニ此設立委員ガ出來マシタ上デナクテハ、何日ニドウ云フ場所デ拂込マセルトカ云フヤウナコト迄ハ極メラレマセヌデアリマスカラ、極ク細密ナル事マデハ今申上ゲ得ラレマセヌデアリマスケレドモ、大體ノ精神ニ於テ成ルベク公平ヲ得タイト云フ希望丈ハ持つテ居ルノデゴザリマス、サウシテ廣ク廣告ヲ致シマシテ株主ヲ募集シ、サウシテ其株ノ割付ナドモ成ルベク不公平ノナイヤウニシタイト云フ丈ノ希望ニ止マルデアリマス

○(大田信一君) 此株主ヲ募集スルト云フコトニ就キマシテハ私モ御尋ヲシヤウト思ヒマシタガ、今立石君ノ御尋ニ依リマシテ大體ノ所ハ即チ政府ノ方針ノアル所ハ略々了解致シマシタガ、尙別シテ今一層立入ツテ御尋ヲシタイト思ヒマス、其所以ハ外デハアリマセヌガ、即チ株主ヲ募集スル手續上ノコトデゴザリマス、是ハ固ヨリ此銀行ヲ設立スル性質ヨリ見マシテモ、今政府委員ノ述べラレル如ク、成ル丈株主ハ或ハ都會ニハ大ナル金満家ガアル、其金満家ナルモノハ一人シテ如何程ノ株券デモ所有出來得ラル、者ガアリマシテモ、成ル丈此性質上ヨリ見マシテモ廣ク株主ヲ募ツテ之ヲ組織スルト云フコトハ、此銀行設立ノ性質ニモ適ツタコトデアルト思ヒマス、而シテ先ヅ今政府委員ノ申サル、ガ如ク、成ル丈公平ニ株主ヲ募集スルニ成ル丈偏頗ノナイヤウニヤリタイト云フ精神デアルト云フ御話ハ了解致シマシタガ、其成ル丈公平ニヤルト云フコトニ至リマシテモ畢竟普通ノ公平ト云フコトヲ見マシレバ、廣ク株主ヲ募集スル廣告デモシテ募集スルト云フコトハ、是モ廣ク普通ノ公平ト云フコトデアラウト思フ、然ルニ又一步ヲ退イテ見マシテ、是迄或ハ日本銀行トカ其他一二ノ銀行等ヲ設立スルニ際シマシテモ、表面ハ今御説ノ如ク公平ト云フコトデゴザリマシテ、又政府ノ精神モサウデアリマセウガ、是ニハ随分既往ノ事ニ照ラシテ見マシテモ色々ノ弊害ガナイトハ言ハレマイト私共ハ信ジテ居ル、サリトテ今御話ノ如ク普通ノ公平ヲ保ツト云フコトニ至リマシテハ、事ノ手段ニ至リマシテハ廣ク募集スルト云フヨリ手段ガナイヤウニ考ヘマシガ、尙私ガ一層進ンデ御尋ヲ致シタイト思フノハ、此銀行設立上ノ性質ヨリ見テモ、前キニ述べタル如ク或ハ金満家ガ十人ナリ二十人ナリノ少數ノ人間ヲ寄セテ一人ヲシテ、數方圓ノ株券ヲ所有サセテ設立スルヨリハ、成ル丈小株主ヲ廣ク集メテ、其小株主ガ數千人數万人寄ツテ設立スルハ、大イニ此銀行設立ノ精神ニ適ツテ居ルコト、思ヒマス、故ニ此普通公平ニ募集スルト云フコトニ至リマシテハ、前キモ述べタル如ク或ハ規則ヲ以テ告示ヲ以テ廣告スルトカ云フコトデアリマスルガ、今政府委員ノ御話ニモ何カ是ニハ深キ御考ノアルヤウニ考ヘマシルガ、或ハ一步ヲ進メテ此金額例ヘバ資本金額壹千萬圓トスレバ、此壹千萬圓ヲ大抵全國ニドレ丈ト云フ標準デモ拵ヘテ割リ充テ、サウシテ募集スルト云フヤウナ御考デモナイノデアリマスカ、是モ餘程廣ク之ヲ募集スルト云フコトデアリマスレバ、則チ普通

ノ公平ヲ保ツト云フコトデモアリ、又今私ガ御尋ヲシマス事ノ如キハ餘程爲シ難キコト、ハ思ヒマスガ、先キニ申シタ如ク此銀行ノ如キ設立ノ場合ニハ或ハ既往ト違ツテ今日デハ政府ニ於テモ監督ヲ細密ニサル、ガ故ニ、左様ナ弊害ハ今日デハナイイカハ知リマセヌガ、既往ノコトニ照シテ見マシテ或ハ日本銀行トカ、其他一二ノ銀行設立ノ場合ニハ随分弊害ガナイトモ言ハレマセヌデアリマス、故ニ其弊害ヲ避ケルタメ且ツ一ツニハ廣ク株主ヲ募集シ得ラル、ト云フ方法ヲ採リタイト云フ考カラシテ、御尋ヲスルデアリマスツレカラ又ツレニ附帶シテ御參考マデニ申置キマスガ、萬一私ガ杞憂スルガ如キ弊害ガアルトシマスルト、例ヘバ或ル府縣カラ何某ガ百株ノ申込ヲスル又或縣カラモ何某ガ百株ノ申込ヲスル、然ルニ此東京即チ中央ハ申込ヲナスニモ便利デアリ、又或ハ其設立委員ナリ其他設立上ニ關係スル人ガ此中央ニアルガ故ニ、申込ヲナスニモ諸般ノ便利ト云フモノガ、此和歌山トカ鹿兒島トカ云フヤウナ遠隔ナ地ヨリハ諸般ノ便利デアルカト云フコトハ是ハ言ハズトモ分ツテ居ル、ソレデ是迄ノ弊害ヨリ見テモ或ル遠方ノ府縣カラ千株ノ申込ガアル、然ルニ其後ノ申込ハ他ノ都會ノ株ヲ持チ得ラル、者ハ比較ヲスルト、必ズツレニモ幾分カノ配當ガナケレバナラヌ、又ツレニハ申込ノ時日順序等ヨリ推シテ見テモ幾分カヲ引受ケルコトガ出來ナケレバナラヌト云フ都合カ、或ハ其モノニハ株券ヲ引受ケルコトガ出來ナカラウト云フ事モナイトハ云ハレナイノデアリマス、サウ云フ其杞憂ハ、今後ノ勸業銀行ヲ設立スル場合ニハ入ラナイデハアリマスルカモ知レマセヌガ、萬一私ガ杞憂スル如キ弊害ガアリトスレバ、大イニ其邊ノ所ニ就イテモ考ヘ置カナケレバナラヌト思ヒマス、甚ダ立入ツタ御尋デアリマスルケレドモ、或ハ其普通ノ公平ヲ保チ、公平ニ募集スルト云フ上ニ今一層進ンダ所ノ、サウ云フ先キニ私ガ述べタ如キ標準ヲ拵ヘテ募集スルトカ何トカ云フ御考ガアルナレバ、一應伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(添田壽一君) 別段何縣ニ幾ラト云フヤウナ配附額デモ定メルト云フ迄ノ考案モアリマセズ、又ソレハ随分標準ガ立テ惡クカラウト思フノデアリマスルデ、ソコ迄ノ考案ハ持チマセヌデアリマスルガ、最前モ申上ゲマシタ通り、大體ノ精神ガ公平普及ト云フノニアルノデアリマスカラ、或ハ東京ノ人丈ガ最早全體ヲ引受ケ終ツテ、一部丈デ濟ンデ仕舞フトカ、一人デ非常ナ巨額ナ株ヲ引受ケテ仕舞フトカ云フガ如キ弊ハ勿論、或ハ地方ノ人ガ申込ノ日にちガ同ジデモ、申込ノ手紙ガ中央ニ届クノガ遅カツタメニ洩レルト云フヤウナ嫌ヒナドハ務メテ避ケナケレバナラヌト思フテ居ルノデアリマスガ、豫メドコ縣ニ幾ラ、何地方ニ何圓ト云フ迄ノ、其制限ヲ設ケルコト迄ニハ考ヘテ居ラヌノデアリマスガ、要スルニ最前申上ゲマシタ一般ノ公平普及ト云フヨリモウ一步下ガリマシテ、事實公平普及ト云フ實ヲ舉ゲルヤウニ、出來ル丈此設立委員ニ向ツテ働ヲ加ヘタイト云フ希望デアリマスガ、餘程此設立委員ノ最早ヤ仕事ニ屬スルノデゴザイマスカラ、ソコハ政府ガ十分務メ

マセケレバナラヌノデアリマスガ、其設立委員ノ又考モ政府ト同一ニ出ナケレバ、其事柄ガ餘程行ハレ惡ウゴザリマスカラ、此設立委員ノ成ルベク公平ノ人ヲ得ルヤウニシタイト云フ考ヘデアリマシテ、詰リ只空ニ公平ト申上ゲルバカリデナク、公平ノ實ヲ擧ゲタイ積リデアリマス

○(豊田文三郎君) 一寸私モ御尋致シマス、此五十九條ノ設立委員デアリマスガ、是ハ今ノ御説明ノ通り隨分重イ役ト思ヒマスガ、別ニ是ハ手當トカ報酬トカ云フモノハナイヤウデスガ、政府内ノ人ハ免モ角モ、若シ民間ノ人ニサスルニハ、政府ハ命令スルトカ云フヤウニ義務デサセマスカ

○政府委員(添田壽一君) 成ルベク公平ヲ得タイト云フ考ヘカラ、唯日本銀行ノ時ノ如ク、政府内ノモノ丈ニハ限リタクナイト思ヒマス、ソレデ其方方ニハ相當ノ手當ヲ上ゲナケレバナラヌト思ヒマス、官吏ノモノモ幾分カ這入ルトシマテシモ、一個ノ公平ナル人間トシテ入レルノデアリマスカラ、凡テ此設立委員ニハ相當ノ手當ト云フモノハ附與シナケレバナラヌト思ヒマスノデ、ソレ等ノ費用ハ此本案ガ通過致シマスルト云フ見込ガ立チマシレバ、追テ追加豫算ヲ以テ諸君ノ協賛ヲ仰グ積リデ居リマス

○(河島醇君) 質問致シマスガ、此第六十條ノ株主募集ト云フコトニ就イテ段々質問ガアリマシテ、大キニ分リマシタガ、ソレニ就イテ少シク意見ヲシウゴザイマスケレドモ、今日ノ經濟社會ノ有様カラ申シテ見レバ、ドウモ此株式熱ト云フモノガヒドイ有様デアリマス、此將來ヲ推シテ見レバ、餘程弊害ガアラウト思ヒマス、然ルニ此銀行ノ法案ガ議會ニ提出ニナルヤ、既ニ地方ニ於テハ段々此準備ヲ致シテ願出ノ前後ヲ爭フト云フ有様ニナツテ居ル、又此中央ニ於テモ勸業銀行ノ株券ノ希望ハ餘程生シタヤウデアアルガ、必ズ此十五銀行ノ處分一件ニ就イテ、華族連中ガ彼ノ株券ニ易ユルニ、此銀行ノ募集ニ應ジタイト云フ希望ヲ餘程有スルヤウデアリマスルガ、シテ見レバ先刻ヨリ諸君ノ御問シタ通り、若シ華族銀行ノ株主ヲシテ、殆ド之ニ代ラシメタ如キ有様ヲ呈シタナラバ、政府委員ハナンボ公平ノ方法ヲ執ルト言ハレテモ、其實華族ノ占取スルヤウニナルカモ知レヌ、之ヲ防グニハ只總裁ニ選舉セララル丈ノ資格ノアルモノ、即チ百株以上ノアルモノ、凡ソ頭ラハ百五十株ヲ最高額ト致シテ、ソレカラ下ニ於テ應ゼシムルト云フヤウナ制限ガナケレバ、到底公平ヲ得セシムルコトハ出來ナイ、若シ小株ニ應募スルモノガナイトキハ、ソレハ百五十株以上、若クハ千株モ萬株モ一人ニ應ゼシムルコトモ出來ル場合モアルデアリマセウケレドモ、普通ニ此制限ヲ置クト云フノハ必要デアラウ、其邊ニ就イテドウ云フ御意見デアアルカ、而シテ是ニ續イテ御問ヲ申スノハ、即チ日本銀行條例ノ第五條、第六條デアリマス、此條例ノ第五條、第六條ニハドウ云フコトガ規定シテアルカト云フニ「日本銀行ノ株券ハ總テ記名券トナシ日本人ノ外賣讓與スルコトヲ許サス」ト云フ規定ガアル、第六條ハ「日本銀行ノ株主トナラントスルモノハ大藏卿ノ許可ヲ受クヘシ」ト云フコトガアル、此制限ハ隨分ヒドイ制限ト思フ、併ナガラ此勸業銀行ニ於テ

ハ、外國人云々ト云フ一ノ制限ガナイ、是ハドウ云フモノデアアルカ、條約改正其他ニ關係ヲ致スガタメニ省イタノデアアルカ、或ハ内外人共ニ嫌ハヌト云フノデアアルカ、之ヲ一ツ聞キタイ、ソレカラ第六條ノ、日本人ト雖モ株主トナラントスルモノハ大藏大臣ノ許可ヲ受クベシト云フモノハ、特ニ日本銀行條例ニ規定シテアルガ今株主募集云々ニ就イテ段々此質問モセラレタ所ノ要領ニ就イテ見ルト、日本銀行ノ當時ノ有様ハ斯ノ如キ有様デアツテ、即チ條例其モノニ對シテモ、大藏大臣ノ許可ヲ受クベシト云フ制限デアラナラバ、此勸業銀行ニ於テモ十分ノ制限ヲスルコトハ政府ハ出來ルデアラウト思フ、是ハドウ云フモノデアアルカ、其點ニ就イテ御尋致シマス

○政府委員(添田壽一君) 此第一ノ御尋ノ、引受株數ヲ限ルト申シマスルコトハ、詰リ御承知ノ通り、此案ノ出來マスルノニハ餘程長イ時期ヲ要シマシタノデ、或ハ其時期ニ於テハ株主ガ少ナイト云フヤウナ憂ガアリヤセヌカト思ツタ位デアリマスノミナラズ、今日ノ如キ、隨分株ノ引受人ハ多カルベシト云フ見込ノ立ツトキニ於テモ、成ルベク精神ガ公平ト云フ點ニ置カレテ居レバ、別段數ヲ限ルト云フ必要ハナカラウト云フ所カラ制限ヲ設ケナイノデアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ハ、日本銀行條例第五條ノ如クセナイノハドウ云フ譯デアアルカト云フコトデアリマスカ

○(河島醇君) 彼ニハ規定ガアルガ、是ニハ規定ノ必要ガナイカト云フノデアリマス

○政府委員(添田壽一君) 御承知ノ通り、第五條、日本銀行條例第五條ハ、日本人ノ外賣讓與スルコトヲ得ズト云フガ主眼デアリマスガ、今日マダ實行ハサレテ居リマセヌケレドモ、我邦ガ列國ト締結致シテ居リマスル新條約ニ於テハ、動産所有權ニ就イテハ制限ヲ加ヘナイコトニナツテ居リマスルノデ、條約面上不動産ハ多少ノ制限ガアリマス、則チ既ニ列國トノ新條約ニ於テ動産ニ制限ヲ置カヌト云フ今日ノ主義、組織、方針デアレバ、則チ此日本勸業銀行ノ株券ノ如キ、所有權ヲ日本人ニ限ルト云フコトハ大体ノ組織ト相容レナイト思ヒマスル、故ニ書カナイノデアリマス、又第二ノ御尋ノ、株主トナラントスルモノハ大藏卿ノ許可ヲ受クベシト、日本銀行條例第六條ニアリマスルノハ、則チ第五條ノ結果デ、日本人ノ外賣讓與スルコトヲ許サズトアルカラシテ、認可ヲ得サセテ果シテ外國人ニ讓ルノデアアルカナイカト云フコトヲ見ル規定デアリマスカラ、既ニ日本人ニ限ラナイト云フ勸業銀行ノ精神デアリマスレバ、日本銀行條例第六條ノ規定ガ從ツテ設ケラレナイ譯ニナルノデアリマス

○(河島醇君) 重ねテ御問致シマス、然ラバ此將來ノ條約改正ノ結果トシテ、動産ハ外國人ノ所有ヲ制限シナイ以上ハ、斯ノ如キ株券其他ノ賣買ハ固ヨリ許ス積リデアアル、其答辯ノ趣意カラ見ルト、外國人モ株主トナルコトガ出來、併セテ株主ノ權利ヲ與フルコトニナル、斯ノ如キ不動産ヲ抵當トシテ、特別抵當ト致シテ、特別ニ制規ノアル所ノ特權ヲ有スル所ノ株主トナツテ、其權

利ヲ十分得セシムルコトニナルカ、其權利アリトスレバ從ツテ總裁トナリ、重役トナルコトモ容易アル、所ガ、本員ガ現ニ獨逸ムろいせん國ノ是ニ類似ノ銀行ノ定款ヲ調ベテ見マスルト、此重役トナルベキモノハ詰リムろいせん人ニ限ルト云フコトガアル、殊ニ獨逸人ニ限ルト云フ規定ガ設ケテナイ、一般ムろいせんノ法律ノ支配ヲ受クベキ人デナケレバ資格ヲ與ヘヌト云フコトニナツテ居ル、所ガ、今政府委員ノ答辯ニ依リテ見レバ餘程自由ニナツテ居ル、外國人ハ不動産ハ制限セラレテ居ル、日本人同様ノ一切ノ制裁ヲ受ケ能ハザルモノモ、既ニ不動産ノ賣買ヲ致ス以上ハ、動産ノ賣買ヲ許サル、權利ヨリシテ與ヘルト云フノハ餘リ自由ト云フモノガ少シク内外ノ別ガ緩ニ過ギルヤウニ思ヒマスガ、モウ一應其邊ノ答辯ヲ煩ハシマス

○政府委員(添田壽一君) 唯今御答致シマシタノハ、所謂株券所有ト云フ件ダケニ就イテノ事柄デアリマシテ、所謂重役ノコトニナリマスレバ、是ハ既ニ御覽ノ如ク、第二章ニ於テ明カニ其任命選定ノ制限ガアリマス、故ニ無論成ルベク我法律ニ服從シ、大体此銀行設立ノ趣旨ヲ達スルニ適スルモノデナクンバ政府ハ命令シナイデアリマスカラ、猥リニ我國ニ縁故ノ薄キモノヲ、直チニ此重役ニ當稱メルト云フヤウナコトハ無論起ツテ來ルベキコトデナイト思ヒマス

○(河島醇君) 然ラバ其權利ナシ、株主トシテ株主ノ權利ヲ有スル以上ハツレ丈ノ權利ガアルモノデアアル、併シ重役等ヲ採用スルノハ第二章ノ上デ、政府ガ任命スル權限ガアル、故ニサウ云フ外國人ニ許サウナ不都合ハナサヌトカウ云フデアリマスカ

○(門脇重雄君) 此附則ニ關係ヲ有シテ居ル事柄デアリマスカラ伺ヒマスガ、施行期限ガ是ニハ記シテアリマセヌガ、政府ハイツカラヤルト云フ見込デアリマスカ

○政府委員(添田壽一君) 唯今ノ御尋ハ一應申上ゲタコトガアルカノヤウニ覺エテ居リマスガ、詰リ一般ノ法令ニ據リマシテ、此施行期ノ定メテアルモノハ法令ニ依ツテ、タシカ一週間以内ニ効力ヲ有スルコトニナツテ居リマスカラ、其普通ノ規定ニ據ル積リデ、別段施行期限ヲ設ケナイデアリマス

○(門脇重雄君) 設ケナイノハ分リマシタガ、政府ハ之ヲ施行スル見込ハイツカラヤルト云フ見込デアリマスカ

○政府委員(添田壽一君) 若シ辛ニ諸君ノ協贊ヲ得マシテ、此會期ニ法律トナツテ通過成立致シマスレバ、直チニ此設立發起ノ手續ニ著手致シマシテ、株主募集ノ如キハ詰リ色々廣告其他ノ時日ヲ要シマスカラ、大概本年ノ秋若クハ冬ニナラウト思フデアリマス、而シテ銀行ノ事實ノ營業ハ明治三十年ノ一月ヨリ始メルコトニシタイト云フ腹案デゴザリマスガ、是ハ種々ナル運ビノ如何ニ依ルコトデゴザリマスカラ、明カニ限ツテ申上ゲル譯ニハ參ラヌデアリマスガ、大要サウ云フ見込ニ止マルデアリマス

○(河島醇君) 門脇君カラ質問ガアツタカラソレデ宜シト思フ

○(田口卯吉君) 一寸附則ノ方ガ濟ミマシタラ以前ニ歸ツテ質問致シタイ、本員ハ最初第一章第一條ノ時分カラ伺ヒマシテ政府委員カラ辯明ガゴザリマシタガ、其辯明ハ誠ニ不十分デゴザリマシタ、實ハ此營業ノ點ニ於テ伺フ積リデ居リマシテ、其時ニ本員ガ出マセヌ故ニ今日戻ツテ伺ヒタイト思ヒマス

○(河島醇君) 日本勸業銀行ハ荷爲換或ハ割引ガ出來ルカト云フコトデゴザリマス、農工銀行ハ荷爲換割引ガ出來ルト云フコトハ確ニ其營業ノ條ニ於テ分ツテ居リマス、農工銀行ガ荷爲換ヲ組ミ其組ンダ先キト云フモノハ勸業銀行デナケレバナラナイト思フデアアル、然ルニ勸業銀行ノ方デハソレ等ノ條項ガ設ケテナイ、而シテ見マスルト政府委員ノ御趣意ハ勸業銀行ニハ荷爲換ヲ全クサセヌ御趣意デアアルカ、農工銀行デ以テ組ンダ荷爲換ト云フモノハ、農工銀行或ハ其他ノ銀行ト組マセルノデ、勸業銀行ニハ組マセヌト云フ御趣意デアアルカ、此以前ノ御辯明ニ依リマスルト「荷爲換若クハ爲換手形ノ割引ニ就イテハ或ハ勸業銀行ガ其上ニ關係ヲ持ツカモ知レマセヌケレドモ」斯ウ云フ言葉デアアル、其關係ヲ持ツカモ知レマセヌケレドモト、言ヒマス此點ガマダはつきり御答ニナツテ居リマセヌデスカラ、勸業銀行ニ是等ノ荷爲換或ハ手形ノ割引ト云フコトヲサセルカサセヌカト云フコトヲ明カニ御答ヲ請ヒタイノデアリマス

○政府委員(添田壽一君) 既ニ勸業銀行法第三十三條ニ明言シテアリマスガ如ク「日本勸業銀行ハ此法律ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス」トゴザリマスルカラ、割引荷爲換ノ如キヲ營業ト爲スコトハ出來ナイデアリマス、唯既ニ御朗讀ニナリマシタル關係ヲ有スルカモ知レヌト云フコトハ、或ハ所謂代理契約ト云フヤウナ關係カラシテ荷爲換ノ取立トカ、爲換金ノ取次ト云フヤウナコトニ干與スルコトガアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレモ成ルベク避ケタイト思フデアリマス、唯代理契約ト云フコトハ是ハ又御論モゴザイマセウケレドモ、是ハ營業トハ認メマセヌノデ、唯人ノ代リニ人ニ代ツテ仕事ヲスル代辦デゴザイマスカラ、所謂營業トハ少シク言ハレマイト思ヒマス、ケレドモ其點カラ或ハ關係ヲ有ツカモ知レヌト申上ゲマシタガ、ソレ等ノ事モ成ルベクハ勸業銀行ニハ事實ノ上デサセタクナイト思ツテ居リマス、無論營業トシテ爲換トカ荷爲換ラシキコトヲ爲スト云フコトハ、到底許スベカラザルコトデアルト考ヘルノデアリマス

○(田口卯吉君) モウ一ツ伺ヒマス、此全體——詰リ債券ニ關係ノアルコトデゴザリマスガ、佛蘭西アタリノ勸業銀行デハ債券發行ノ時分ニ隨分色々ナモノヲクツケルコトガアルヤウニ承ツテ居リマス、例ヘバ萬國博覽會デモ起シマシタ時分ニハ、其入場券ヲ債券ニクツケテ賣出サスルト博覽會モソレデ一時ニ入場券ガ賣レル、勸業銀行モソレデ債券ノ賣レガ宜イト云フノデ、兩方ノ便ヲ謀ルト云フヤウナコトガアルサウデゴザリマス、デ此勸業銀行ノ

債券ニハサウ云フヤウナコトハナサリマス御積リデアリマスカ、ドウカ其點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(添田壽一君) 私ハろんなニ餘リ外國ノ事例ヲ摸擬シタクナイト云フ少シク偏屈カモ知レマセヌガ、考ヘテ持ツテ居リマスカラ、色々ナ事ガ外國ニハゴザリマセウガ、成ルベク此勸業銀行ニセヨ、農工銀行ニシロ、我立法ノ下ニ立法ノ精神ニ適フ丈ノ事柄ダケニ止メタイト云フデアリマスカラ、博覽會場デアルト云フコトマデハ餘リシタクナイト云フ考ヘデアリマス

○(田口卯吉君) 入場券ヲクツ付ケル債券ニクツ付ケテ入場券ヲ賣ルノデスカ

○政府委員(添田壽一君) ソコマデア致サナイデモ宜カラウト思フデアリマスガ、併シツレハ随分日本勸業銀行ガ出來マシタ上デ、勸業銀行ノ者等ガドウシテモサウシタイト言ヘバ已ムヲ得マセヌケレドモ、先ヅ私ダケノ希望ハ左様ナコトマデア致サヌデモ宜カラウト思ヒマス

○(原善二郎君) 一寸此十四條ニ「日本勸業銀行ハ年賦償還貸付金總高ノ十分ノ一ニ相當スル金額ヲ限り不動産ヲ抵當トシ又ハ地金銀若クハ國債證券地方債證券ヲ質トシ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコトヲ得」是ハ別ニ御出シニナツタノハ、ドウ云フ譯デア御出シニナリマシタノデゴザイマセウカ、一寸御辯明ヲ願ヒタイ、是ハ餘程私ノ考ヘニハ妙ナコトニナラウカト思ヒマスカラ

○政府委員(添田壽一君) 詰リ是ハ一應申上ゲタコトモアルカノヤウニ思ヒマスガ、即チ極ク平タイ言葉ヲ以テ申シマスレバ、勸業銀行ノ本業以外ノ是ハ御土産デアリマシテ、ソノ外ニハ評シ様ガナイノデアリマシテ、ドウシテモ是ハ本業デアイノデ、尙銀行ハ營業ヲ限ラレ、義務モ重ク、利益モ乏シキ憂アレバ、唯幾分カ銀行ノ融通ヲ便ナラシムルタメニ、附隨トシテ附ケタト云フノニ過ギナイノデアリマス

○(原善二郎君) 是ハドウモ特別ノ商賣ガ現ハレテ居ルト云フヤウニ見ユル、サウシマス先刻モ八章ノ罰則ニ就イテノ貳百圓迄ノ罰則ハアリマスカ、此勸業銀行ニシテ十分ノ一ヲ破ツテ貳百圓ノ罰則ヲ出ス積リテ、此案ヲ盛ニヤリマシタナラバ、まるデ勸業銀行ノ主意ヲ失フコトニナルト思ハレル、餘程是ハ御考ガナケレバナリマスマイト思ヒマス

○政府委員(添田壽一君) 御質問デアナイヤウデアリマスカ……

○委員長(石田貫之助君) 原君、ツレハ質問ノ要旨ガ判然セヌト云フコトデス

○(原善二郎君) 御土産ト云フコトデアリマスカ……是ハ餘程御土産ニハ惡イヤウデス

○委員長(石田貫之助君) ツレデア議論ニ廻ハシテ置キマセウ
○(原善二郎君) 議論ハシマスマイガ、一寸考ヘテ何ツテ置クノデアリマス

カラ、ツレナラツレデア宜シイドウ斯ウト云フコトモナイノデス
○委員長(石田貫之助君) シマスレバ、是デ日本勸業銀行法案ノ質問ハ了シタモノト致シマス、隨テ諸君ニ御相談致シマスガ、午後ハ本會ノ許可ヲ經マシタナレバ、農工銀行ノ質問ニ掛リタイノデアリマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ
○(田口卯吉君) 私ハ別ノ委員會ガアリマスカラ、出席サレマセヌ
○委員長(石田貫之助君) ツレデア是デ休憩シマス
午後零時五分休憩

明治二十九年二月二十八日印刷

明治二十九年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局